

基礎作業学実習 2 にて陶芸が始まりました (2022.4)

2022年5月6日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「陶芸」を用いることがあります。

3年生になると2年生の時と違い、より複雑で完成に時間を要する

活動について実習することになります。

4月から7月まで「陶芸」が続きますが、どのような作品が仕上がるのか楽しみです。

陶芸は上肢の筋力、筋持久力、巧緻性や上肢の力の調節、

作業への耐久性（長時間の座位保持）などの改善を目的に利用されます。



人生初！電動ろくろに挑戦中



器らしくなってきた



手回しろくろで湯飲みを作成中



焼き上がりが楽しみです